2012.12月号

本康歯科ニュース

「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院めざして！！

本康歯科では、患者様の歯の色を正確に判断するために、専用の医療デジタル器機を導入しました

主な特長

撮影環境を統一化し、円滑かつ効率的なコミュニケーションが可能

従来、歯科医師や技工士は、歯や補綴物をそれぞれ異なった光源下で観察していました。そのため両者の歯牙色情報に関する判断の違いにより、患者様が求める補綴物の製作に差異が生じていました。当院では「Crystaleye」を用いて歯の色の判断をします。特色としては、患者様の口腔内の外光を遮光して撮影を行います。技工所では歯科医院から送られたこの情報をもとに補綴物を製作し、同様に完全遮光の専用冶具にて製作補綴物を撮影することができます。歯科医院と技工所が同じ環境下で比較確認することができることにより患者様のニーズに合った補綴物を製作することが可能です。

7 バンド LED 光源を採用し、高精度な測色で正確な色情報の判断が可能

これまで歯牙の色判定をする場合、色見本を使って目視にて行っていたため、微妙な色判定に時間が掛かっていました。また、補綴物製作のための技工指示書に記載しきれない色情報もあり、歯科医院と技工所間では正確な色情報伝達が容易ではありませんでした。「Crystaleye」は 7 バンド LED 光源を用いたスペクトル推定方式を採用し、高精度な測色を実現しました。一般的な 3 バンド（RGB）方式を超える色差認識能力によって微妙な色判定へのサポートが可能となりました。

簡単・正確な撮影とスピーディな画像データの提供が可能

従来の撮影には、フォトフラッシュ、マクロレンズなどの機材の扱いや、撮影時の複雑な設定が必要でした。「Crystaleye」では、複雑な操作を必要とせず、簡単に正確な撮影を実施することができます。さらに電子情報を歯科医院から技工所へ送ることで、歯牙の形態や色調、及び観察したい部位の詳細な色情報を分析することが可能です

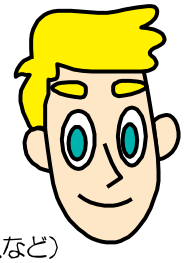
あなたも“歯科通”になれる…!?
歯医者が出題する “歯とお口のクイズ”

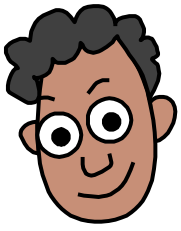
昨年の10月、世界人口が **“70億人”** に到達しましたよね。

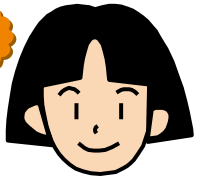
ところで、人間は人種によって肌の色・髪の色・目の色などが違っています。　例えば、肌の色が白いのが**「白色人種」**、黒いのが**「黒色人種」**、そして、私たち日本人は**「黄色人種」**に当てはまります。

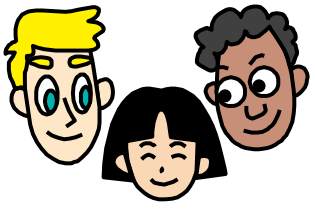
地球上には実に、体格・皮膚や毛髪の色が違う様々な人間が暮らしています。　さて、ここでこんな問題を出題！

問題　以下の人種の中で、一般的に“最も歯が大きい”のはどの人種でしょう？

1 
白色人種
（ヨーロッパ人など）

2 
黒色人種
（アフリカ人など）

3 
黄色人種
（日本人など）

4 
人種による違いはない